

2018年12月期 第2四半期 決算説明資料

サイオス株式会社
(東証二部 : 3744)
2018年7月31日

目次

- I 2018年12月期 第2四半期業績の概要**
- II 2018年12月期 第2四半期の振り返り**
- III 中期損益計画および通期業績予想**

I

2018年12月期 第2四半期 業績の概要

2018年12月期 第2四半期 業績（連結）



(単位：百万円)

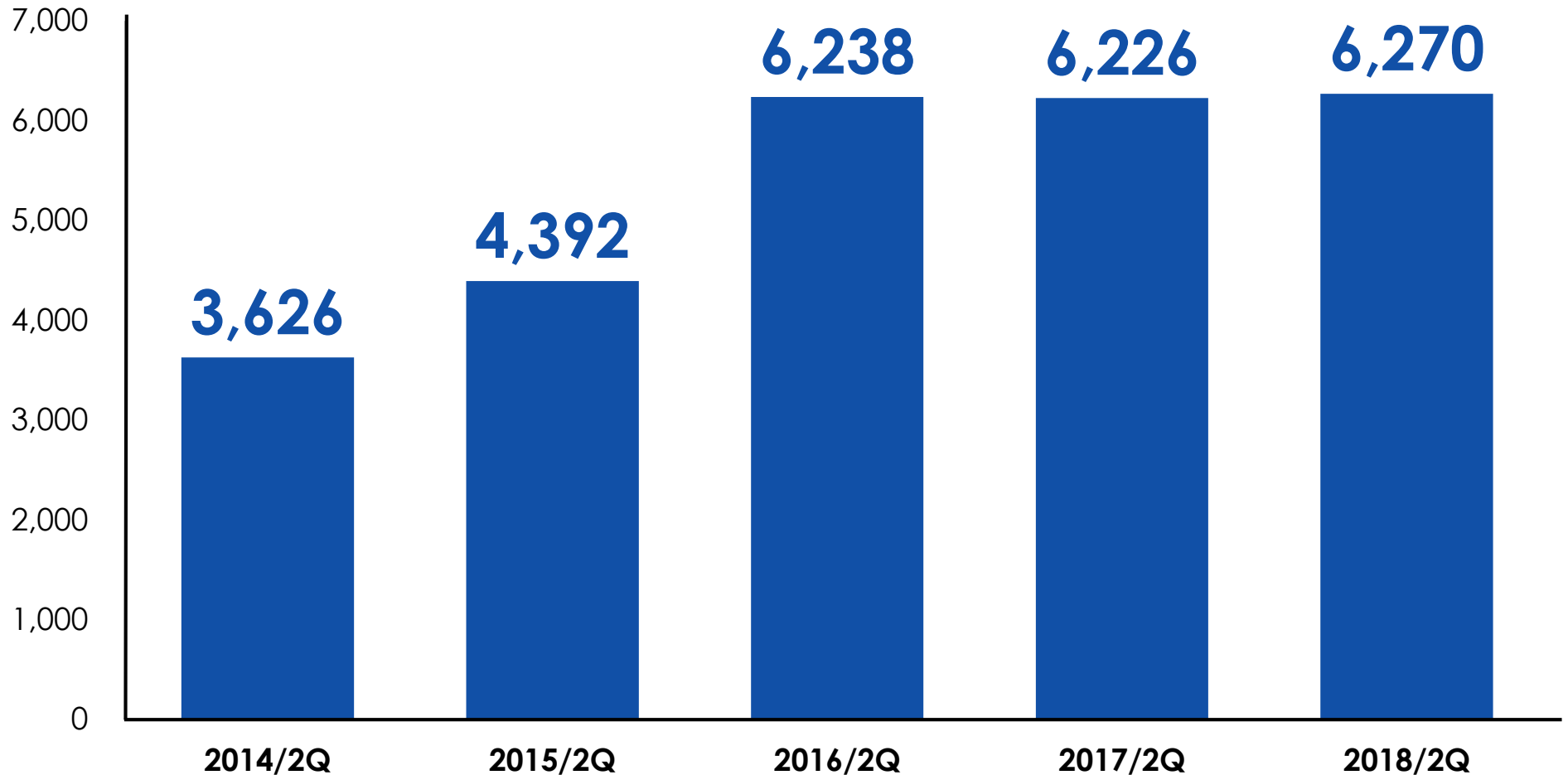
	17年12月期 1-2Q実績	18年12月期 1-2Q実績	差額	前年同期比
売上高	6,226	6,270	+44	+0.7%
売上総利益	2,162	2,056	△106	△4.9%
営業利益	173	127	△45	△26.5%
経常利益	184	131	△52	△28.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	89	79	△10	△12.0%
EBITDA	260	166	△94	△36.2%

※EBITDA・・・営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

第2四半期 連結売上高の推移

売上高は前年同期比で微増

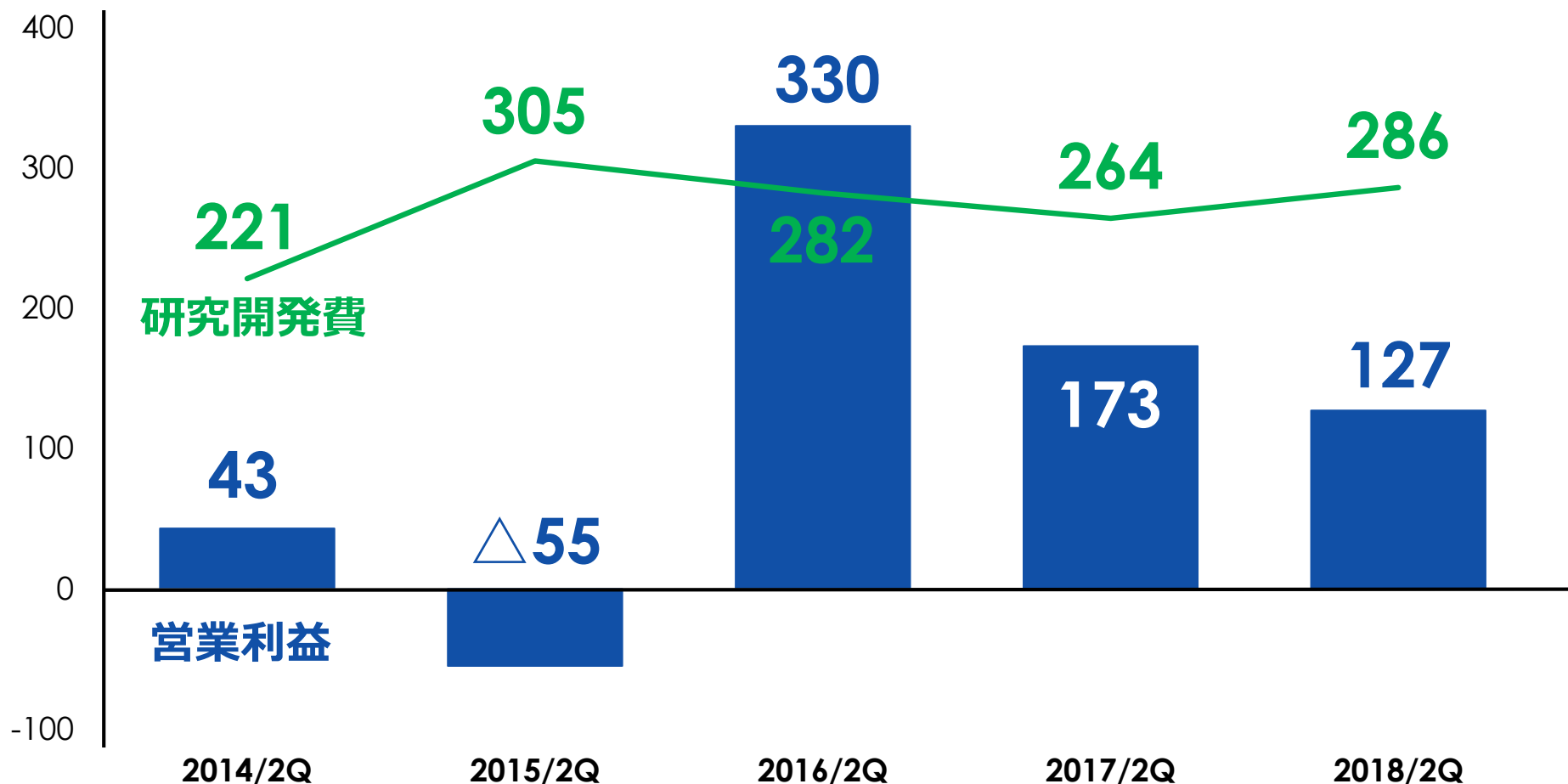
(単位：百万円)



第2四半期 連結営業利益および研究開発費の推移

- 営業利益は前年同期比**45百万円減益**
- 研究開発への**投資は継続**

(単位：百万円)

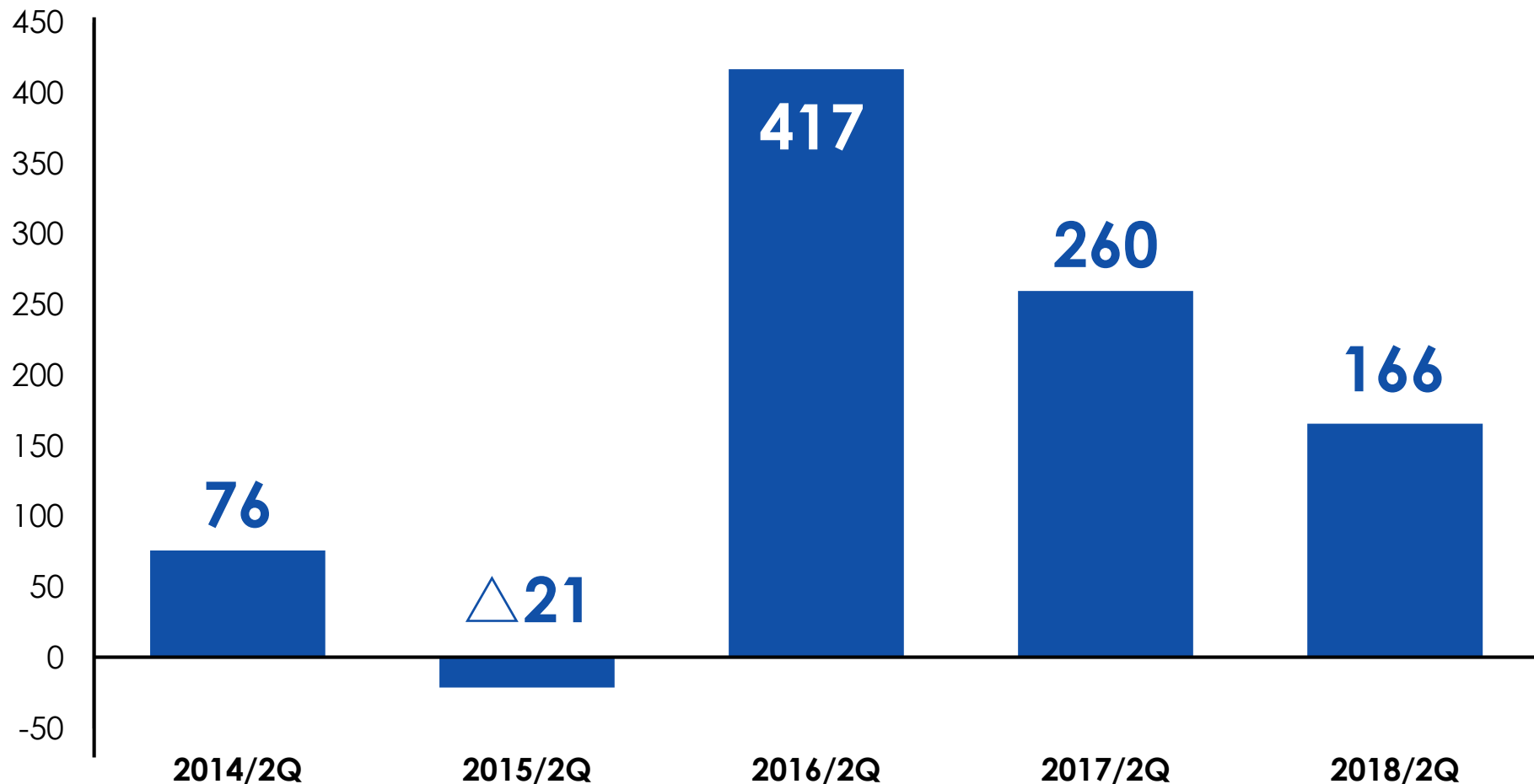


第2四半期 連結EBITDAの推移



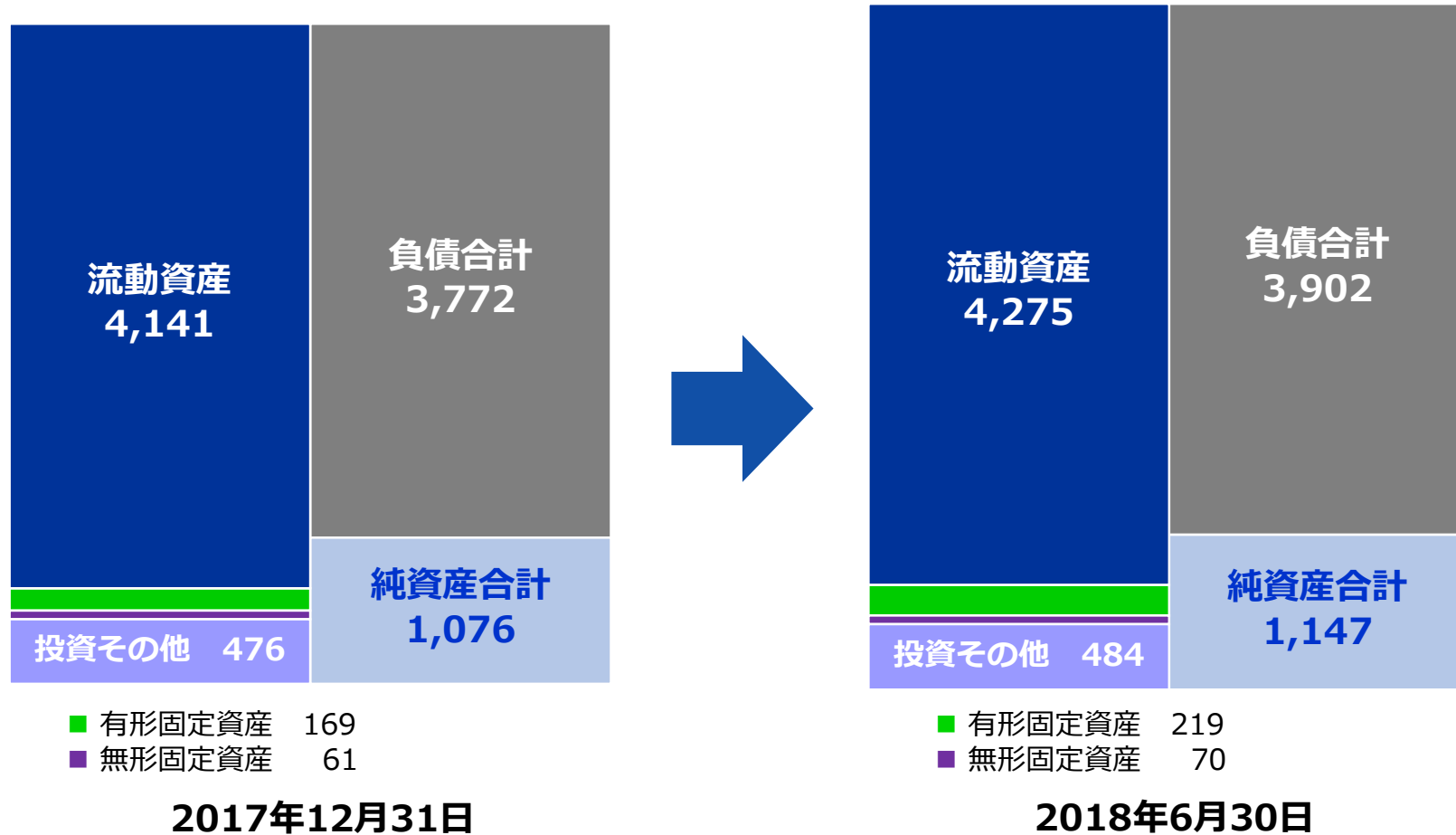
前年同期比94百万円減少

(単位：百万円)



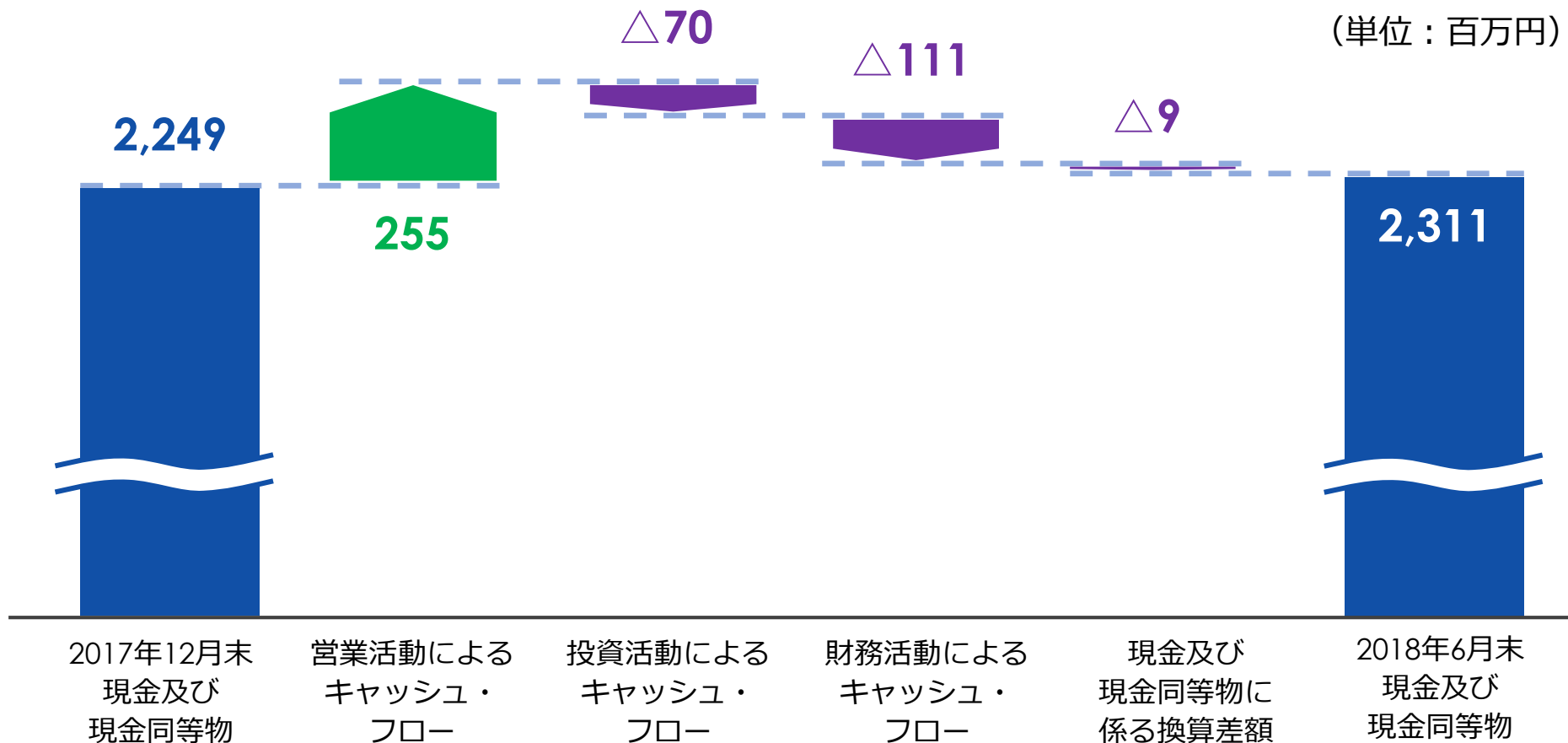
貸借対照表（連結）

(単位：百万円)



- **流動資産** : 仕掛品が66百万円、現金及び預金が62百万円増加
- **流動負債** : 前受金が288百万円増加
- **固定負債** : 長期借入金が66百万円減少

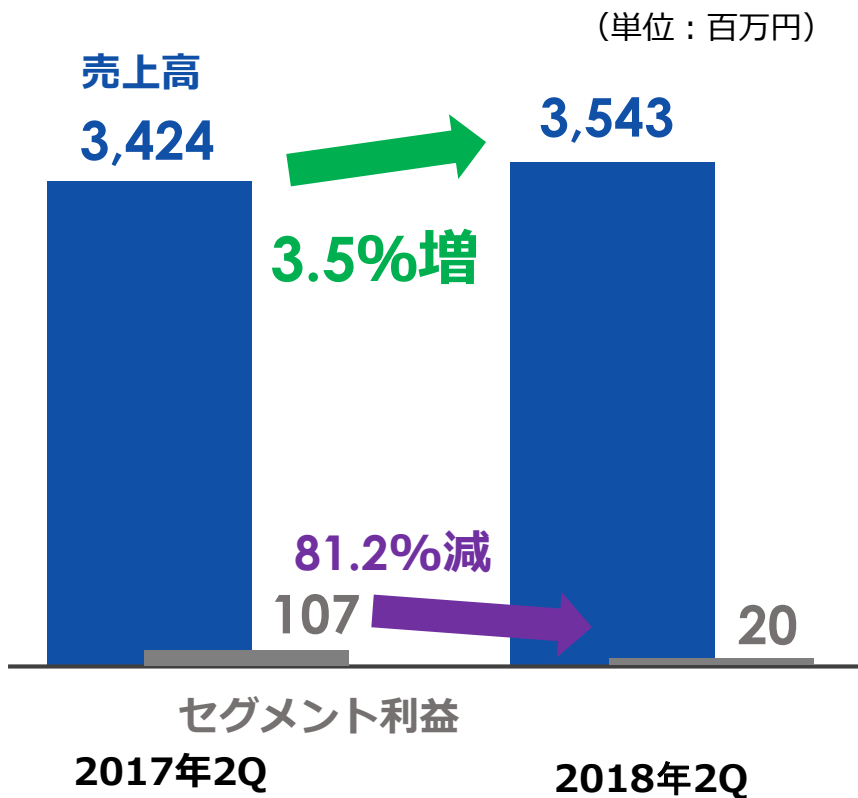
第2四半期 キャッシュ・フロー（連結）



- 営業活動によるキャッシュ・フローの積み上げで、
潤沢な資金を確保

オープンシステム基盤事業

売上高	3,543百万円（前年同期比 3.5%増）
セグメント利益	20百万円（前年同期比 81.2%減）



売上高

国内

- 主力製品の「LifeKeeper*」は**減収**
- Red Hat, Inc.関連商品*の販売は**順調な増収**
- OSS*サポートサービスやOSS関連商品は**堅調な増収**

海外

- 欧州を除く全地域で**減収**

セグメント利益

- 「LifeKeeper」の減収、商品販売の粗利率低下により**減益**

※ 「*」を付した用語につきましては、24ページに解説を記載しております。

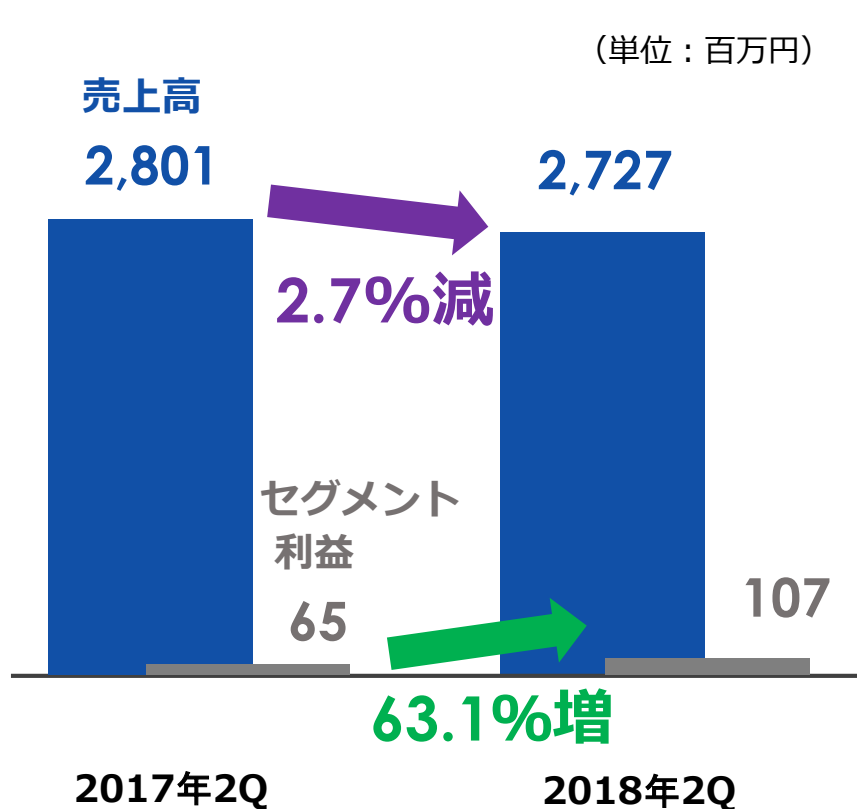
アプリケーション事業

売上高

2,727百万円（前年同期比 2.7%減）

セグメント利益

107百万円（前年同期比 63.1%増）



売上高

- MFP向けソフトウェア*製品は**減収**
- 金融機関向けのシステム開発・構築支援は**減収**
- 地方銀行等を主要顧客とする金融機関向け経営支援システムの販売は**大幅な増収**

セグメント利益

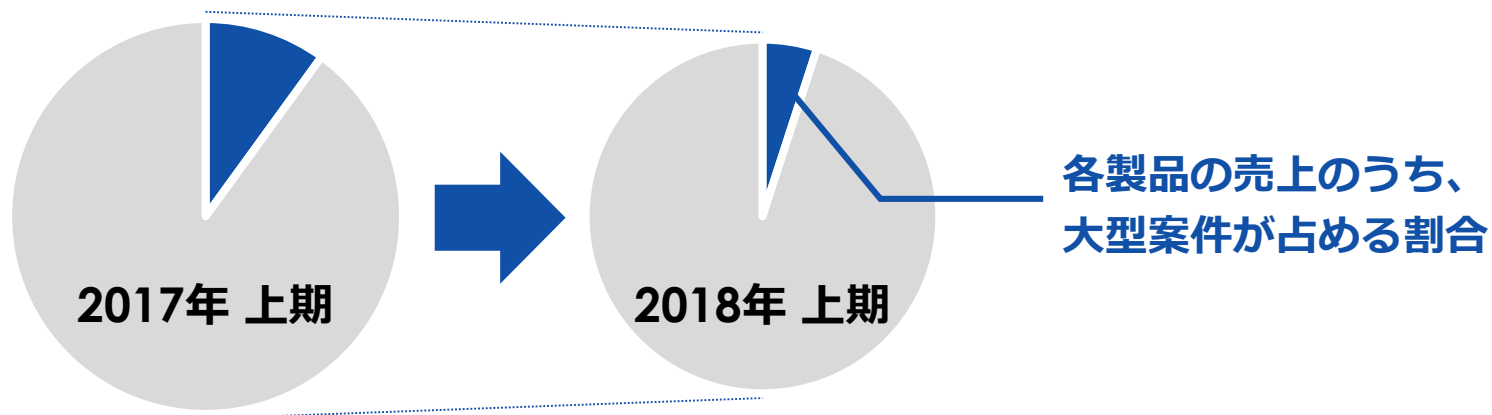
- 新規事業関連費用が増加したが、のれん及び顧客関連資産の償却費が50百万円減少したことにより**増益**

LifeKeeper・MFP向けソフトウェア製品の状況

減収要因

両製品とも大型案件の割合が減少

- MFP向けソフトウェア製品は、1～3月期は堅調であったが4～6月期に減少



対策

- 販売パートナーとの連携を強化
- 大型案件への営業リソース注力
- 新製品の販売強化
(次世代SIOS Coati *、LogキャプチャNX Plus *、Easyファクス*)

Ⅱ

**2018年12月期
第2四半期の振り返り**

中期経営戦略の基本方針

1

**Fintech*を含む
新たな領域での新規事業創出**



2

継続的な研究開発投資



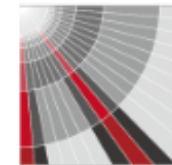
3

コアビジネスの競争力強化



1. Fintechを含む新たな領域での新規事業創出

株式会社Rhelixa（レリクサ）と資本業務提携
共同でエピゲノムのクラウド解析プラットフォームを開発



Rhelixa
Decoding Life, Creating Future

エピゲノム解析の知見を獲得し、
バイオサイエンス領域における
事業展開・拡大を狙う。

エピゲノム解析のプラットフォーム
開発に必要なクラウド*技術を手に入れ、
ビジネスを加速させる。



「世界中の人々のために、不可能を可能に。」という
当社のミッションを実現すべく、未来につながる事業創出を目指す

2. 継続的な研究開発投資

米国サイオステクノロジーがサウスカロライナ大学に R&Dセンターを開設し、先進AIを共同で研究開発



米国サイオステクノロジー AIの研究開発を強化

- AI関連の新技术・新製品開発
- 同大学の研究プロジェクトへの参加
- 優秀な人材の採用
(インターンシップ・プログラムなど)

サウスカロライナ大学 AIの専門家を育成

- 米国サイオステクノロジーの技術者から最新AI技術を学び、実社会で起きる問題に取り組む機会
- 最先端AIを研究するためのソフトウェアを利用できる

R&D AI

3. コアビジネスの競争力強化

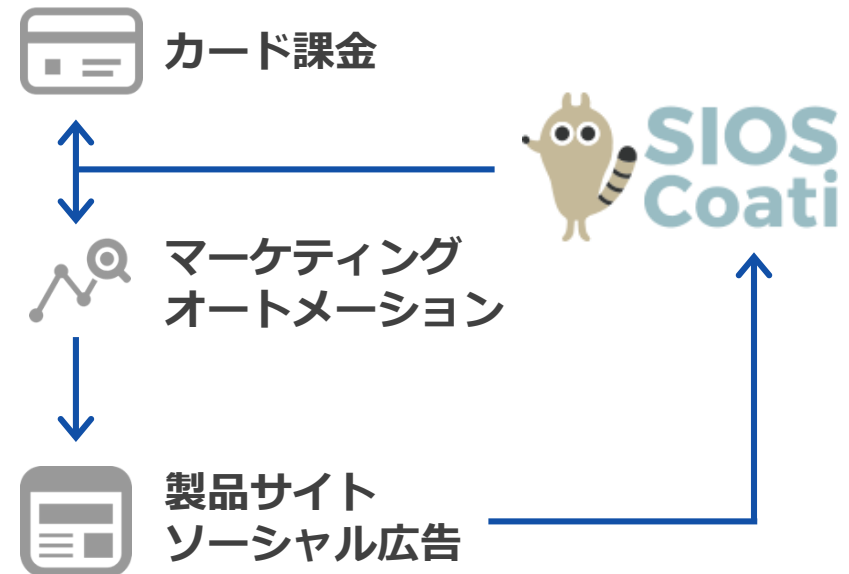
SIOS Coatiプロジェクトにて、世界のITトレンドを取り込む

世界的クラウドプレイヤーの
アプリケーション開発技術を応用する



アマゾン ウェブ サービス* の
サーバーレスアーキテクチャー* を採用し、
安全かつ世界規模での展開を実現

エンタープライズ向け SaaS*
ビジネスサイクルの完全自動化



3. コアビジネスの競争力強化



日本最大級のクラウド
コンピューティング
カンファレンス
「AWS Summit」

サーバーレス
アーキテクチャーを
題材とした講演は満席で
注目を集めました

2018.5.30 開催

SIOS Coati をサーバーレスアーキテクチャーで全部書き直してみた！

SIOS Technology Corp. (米) Member of the Board 栗原 傑享

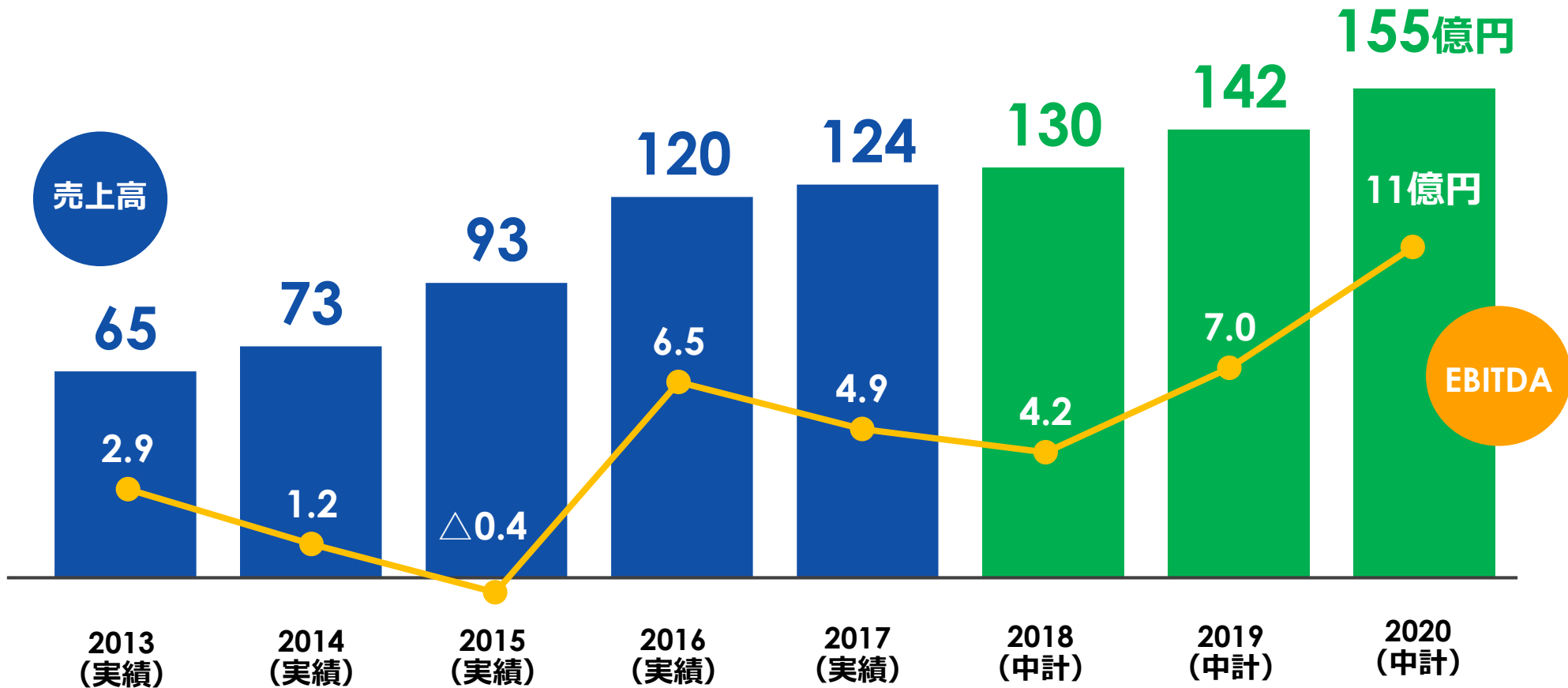
2018年7月より日本に帰任し、サイオステクノロジー株式会社 常務執行役員



中期損益計画 および通期業績予想

中期損益計画について

成長への基盤を固める3年間と位置付け、
2020年には売上高155億円、EBITDA11億円を目指す



2018年12月期 通期業績予想



(単位：百万円)

18年12月期
1-2Q実績

18年12月期
通期業績予想

進捗率

売上高	6,270	13,000	48.2%
営業利益	127	330	38.5%
経常利益	131	330	39.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	79	260	30.4%
EBITDA	166	420	39.5%

2018年12月期 下期への取り組み

① Fintechを含む新たな領域での新規事業創出

金融機関向け経営支援システムの伸長推進

② 継続的な研究開発投資

クラウド、AI領域への研究開発投資継続

③ コアビジネスの競争力強化

LifeKeeper、MFP向けソフトウェア製品での営業強化

サイオスについて



SIOS is Innovative Open Solutions

本社	東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
資本金	1,481百万円
設立	1997年5月23日
社員数	連結481名（2018年6月30日現在）
主な 連結 子会社	サイオステクノロジー（日） SIOS Technology Corp.（米） グルージェント（日） キーポート・ソリューションズ（日） Profit Cube（日）

サイオスは、Linuxに代表される**オープンソースソフトウェア**の開発と利用を軸に、自社開発ソフトウェア製品の販売とサービスの提供を行っています。直近では、**AI（人工知能）**、**Fintech（金融技術）**、**クラウドコンピューティング**の技術領域に注力し、次世代を支える新製品とサービスの提供を開始しています。

これからも**革新的なソフトウェア技術**を追求し、世界のIT産業に影響力のある存在、「**インフルエンサー**」となって価値を創造し、社会の発展に貢献してまいります。



項	用語	説明
10	LifeKeeper	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。
10	Red Hat, Inc.関連商品	オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。
10	OSS (オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
11	MFP向けソフトウェア	プリンタ、スキャナー、コピー、ファクス等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。
12	SIOS Coati	クラウド上でシステム障害を自動復旧するソフトウェア。
12	LogキャプチャNX Plus	複合機で利用者が行ったコピー、ファクス送信、プリント、スキャンの内容を画像ログおよび操作ログとして保存するソフトウェア。
12	Easyファクス	受信したファクス文書を電子化し、自動で送信元情報や受信年月日ごとにフォルダーへ振り分けると同時にリネーム処理を行うソフトウェア。
14	Fintech (フィンテック)	Finance (金融) とTechnology (技術) の融合による新たなテクノロジー。
15	クラウド	コンピュータ処理をインターネット経由で利用できるサービス。
17	アマゾン ウェブ サービス	Amazon社が提供するクラウドサービス。
17	サーバーレスアーキテクチャー	サーバーの環境構築を意識せずに、システムの利用を可能にする技術。
17	SaaS	「Software as a Service」の頭文字を取った略語。インターネット経由でソフトウェアを提供・利用する形態。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

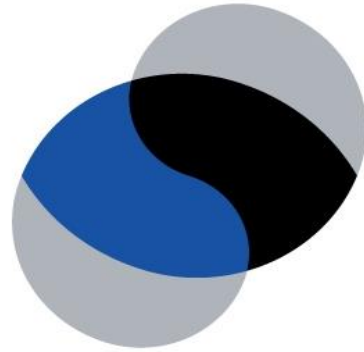
本件に関するお問い合わせ

サイオス (IR)

Tel : 03-6401-5111 (代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://lp.sios.jp/MRK_Inquiry_IR.html



SIOS